

## 生活保護受給者の頻回受診は 独居で1.5倍・不就労で2倍多い

医療機関への頻回受診への対応は、患者へのケアの質の改善、及び医療費適正化の観点から課題とされています。特に、医療扶助により無償で医療サービスを利用できる生活保護受給者への対応が重要な行政課題として議論されています。しかし、生活保護受給者の頻回受診に関連する要因は明らかにされていませんでした。

生活保護受給者の自治体管理データと医療扶助・介護扶助レセプトデータを結合した2自治体のデータを分析しました。頻回受診しやすい生活保護受給者の特徴を、本人の特性（個人・世帯データ：年齢・性別・就労・収入・国籍・傷病障害の状況）と医療機関と自治体の特性を用いて明らかにしました。

2016年1月時点で生活保護を受給している6,016人を1年間追跡したところ、139人（2.3%）が頻回受診していました。分析の結果、独居（ひとり暮らし）である場合には2人以上の場合と比べて約1.5倍、就労していない場合は就労している場合と比べて約2倍、頻回受診しやすい傾向があることがわかりました。また、個人医療機関をかかりつけとする場合には医療法人の医療機関と比べて約1.8倍頻回受診の傾向がありました。

独居・不就労といった特徴は、社会的孤立を引き起こしやすい状況と関連すると思われます。現在、生活保護制度においては就労支援の強化がされていますが、加えて、孤立を防止したり、適正な受診行動を支援するような追加措置が有効である可能性が示されました。たとえば、医療機関への受診同行支援などが考えられます。

お問い合わせ先：近藤 尚己 nkondo@m.u-tokyo.ac.jp

東京大学大学院医学系研究科 健康教育・社会学分野

**表 3-4-2 生活保護受給者の頻回受診に関連する社会的・自治体・医療機関の要因**  
(頻回受診を被説明変数とした多変量マルチレベルロジスティック回帰分析の結果)(太字:両側 p<0.05)

	単変量解析			多変量解析			マルチレベル多変量解析		
	粗オッズ比	95% 信頼区間		粗オッズ比	95% 信頼区間		粗オッズ比	95% 信頼区間	
<b>年齢</b> 1歳ごと	<b>1.02</b>	<b>1.01</b>	<b>1.03</b>	<b>1.01</b>	<b>1.00</b>	<b>1.03</b>	<b>1.01</b>	<b>1.00</b>	<b>1.03</b>
<b>性別</b>									
女性	参照			参照			参照		
男性	0.88	0.63	1.23	0.94	0.66	1.34	1.03	0.72	1.46
<b>世帯人数</b>									
2人以上	参照			参照			参照		
独居	<b>1.72</b>	<b>1.16</b>	<b>2.57</b>	1.45	0.96	2.20	1.51	0.98	2.32
<b>就労</b>									
あり	参照			参照			参照		
なし	<b>2.41</b>	<b>1.26</b>	<b>4.60</b>	2.04	0.99	4.21	1.96	0.88	4.38
<b>収入</b>									
なし	参照			参照			参照		
あり	1.34	0.96	1.87	1.45	0.99	2.10	1.40	0.96	2.05
<b>国籍</b>									
日本	参照			参照			参照		
日本以外	1.37	0.55	3.39	1.79	0.71	4.52	1.84	0.72	4.68
<b>健康状態</b>									
疾病なし	参照			参照			参照		
精神障害	1.22	0.69	2.14	1.11	0.60	2.07	1.12	0.57	2.18
身体障害	0.94	0.48	1.83	0.80	0.40	1.59	0.83	0.42	1.64
アルコール依存症	1.02	0.14	7.52	1.31	0.17	9.84	1.21	0.17	8.77
精神疾患(手帳なし)	0.87	0.47	1.61	0.88	0.46	1.70	0.90	0.45	1.78
その他の疾患	1.26	0.83	1.92	1.21	0.78	1.86	1.16	0.75	1.79
<b>要介護認定</b>									
認定なし	参照			参照			参照		
要支援	1.31	0.57	3.01	1.09	0.47	2.57	0.98	0.41	2.31
要介護	1.09	0.65	1.82	0.71	0.41	1.24	0.69	0.40	1.21
<b>自治体</b>									
A	参照			参照			参照		
B	<b>2.92</b>	<b>2.09</b>	<b>4.10</b>	<b>2.78</b>	<b>1.98</b>	<b>3.93</b>	<b>2.77</b>	<b>1.95</b>	<b>3.93</b>
<b>受診回数最大の医療機関(開設者区分)</b>									
医療法人							参照		
国立							0.33	0.05	2.40
公立							0.63	0.22	1.77
社会保険							0.83	0.26	2.72
個人							<b>1.77</b>	<b>1.20</b>	<b>2.62</b>
その他 (公益・社会福祉・学校など)							0.99	0.55	1.77

■謝辞：本研究は、平成30年度厚生労働省社会福祉推進事業「社会的弱者への付き添い支援等社会的処方の効果の検証および生活困窮家庭の子どもへの支援に関する調査研究」の一環で実施しました。

■発表報告書：報告書1「付き添いのちから」生活困窮者の医療サービス利用の実態および受診同行支援の効果に関する調査研究. 一般社団法人・日本老年学的評価研究機構. 2019. <https://www.jages.net/project/konkyu/>

報道発表 Press Release

2019年6月発行

平成30年度厚生労働省社会福祉推進事業

「社会的弱者への付き添い支援等社会的処方の効果の検証および生活困窮家庭の子どもへの支援に関する調査研究」報告書